

令和5年度第2回市民協働活動審査会 要録

日時：令和5年7月26日（水）13:30～14:30

場所：郡上市総合文化センター 4階 第1大会議室

出席者：審査委員

笠野信男、武藤里恵、乾松幸、上村英二、青木修、三輪幸司

事務局

三島政策推進課長、木嶋課長補佐、荒川係長、牧野主任

欠席者：なし

傍聴者：1名

（13:30）

1. 開会

事務局 審査に先立ち、郡上市市民協働活動審査会設置要綱第6条第3項に、審査会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができないとある。委員6名全員出席であるため、過半数を超え、この審査会は成立することを報告する。

2. 開会挨拶

（会長より挨拶）

3. 審査会進行・審査資料に関する説明

（事務局より進行、審査方法等について説明）

4. 魅力ある地域づくり推進事業補助金交付申請に関する審査

（進行を会長に交代）

「魅力ある地域づくり推進事業補助金 市民活動部門（スタートアップ助成型）」

高校生カフェプロジェクトチーム

事務局 審査会進行についての説明（説明及び事前質問回答5分、質疑応答15分）

高校生 自己紹介と事業を説明

このプロジェクトの目的は、郡上市を高校生が戻りたい町にするということである。高校や大学で郡上市を離れて、20歳から30歳ぐらいで郡上市に戻ってくることが多い。しかし、戻ってこなかった場合、それ以降、ほとんど戻ってくることはない。

だからこそ、高校生のうちに郡上市に戻りたいと思えるような郡上市に変えていかなければならない。そのため、私たちはやりたいことをやれる場所を郡上市に作ろうと思い始めた。

私は今、昔からやりたかったバンド活動を高校生でもできる場所があるということをやっている。やりたいことをやれる場所がある郡上市を好きになった。やりたいことを応援してくれる郡上市であるという気持ちが地元にプラスの感情を持つことにつながる。やりたいことをやれる場所をつくることが、郡上市を好きになるという気持ちへつなげることが目的である。

内容は、私たちの手で私たちの理想の場所、カフェを作るというものである。

場所は八幡町の飲食店である。日時は放課後の時間から、ここの営業時間前まで行う。メンバーは高校生でメンバーの出入りは自由である。指導者は飲食店の店主と、アドバイザーには郡上市ユースセンター長がついてくれることになった。

しかし、場所の役割はカフェだけではない。今後、毎回10人以上、高校生が来る店を目指す。そして、カフェとしての利用だけでなく、実習場所や高校生の悩みの相談場所、あとは学校ではできないプロジェクトを実現できるような場所にしていく。一つの例として、私も参加しているが、バンドチームが活動を始めている。

この活動が始まる前、まさか自分たちのやりたいことができる形になるなんて思ってもいなかった。やってみたいことがあったら何でも応援すると言っていたとき、ユースセンター長が本気で一生懸命、一緒に取り組んでくれた。こんな挑戦をさせてもらえる郡上市だからこそ、高校を卒業した後も、郡上が心の中にあると思う。私たちの夢を変えるには、郡上市の支援が必要である。私たちの夢を叶えるためにぜひ、応援いただきたい。

事前質問・回答

①事業の目的に高校生の異なる居場所、思い出の場所づくりとありますが、それが何故カフェ運営になるのかご説明ください。

高校生　　高校生にとって今郡上市に欲しいのは、高校生が気楽に行け、値段も安く、そこに行けばいつもの仲間の誰かがいる居場所であり、それが一番イメージしやすいのがカフェであった。

②営業時間前のカフェ運営について、保健所の許可等は問題はないでしょうか。

高校生　　保健所のことは問題ない。

③毎週飲食店のオーナーが付いてカフェ運営をするのでしょうか。また、オープン時にオーナーが不在の場合、食品衛生責任者は誰になるのでしょうか。

高校生 食品衛生責任者は、飲食店のオーナーである。

④カフェの食品の調理は誰が行うのでしょうか。

高校生 食品の調理は飲食店のオーナーが調理師免許を持っており、高校生が主体になるが、高校生がオーナーの指導のもとに作る。

⑤火事や食中毒など有事の際には、責任者は誰になるのでしょうか。

高校生 火災や食中毒などの有事が起こった際には、責任者は飲食店のオーナーになる。

⑥どのようなメニューを開発しようとしているのでしょうか。また、そのメニューは他のカフェと違いはあるのでしょうか。

高校生 例えはケーキなどのスイーツ、かき氷やパスタなどを開発する予定である。他のカフェと違い、若者向けのメニューを中心で価格も抑える。郡上高等学校や地元の融資を募り、仕入れ費を抑えていきたい。

⑦広告ポスターはどこに掲示する予定でしょうか。

高校生 広告ポスターは、郡上高等学校や郡上北高等学校など高校生が多く集まる場所に掲載する予定である。

⑧固定客を確保するために、広告ポスターの他どのように周りへ宣伝するのかご説明ください。

高校生 高校生相手にチラシは今だとすると宣伝効果があまり見込めない。そのため、チラシではなく、高校生の口コミやSNSを中心に利用して宣伝していく。

⑨今後の展望で、高校生の悩みの相談場所とあるが、誰が相談相手になる想定でしょうか。

高校生 相談相手は高校生スタッフやユースセンターのユースワーカーという高校生と関わる大人が相談相手となる。

⑩補助金の交付決定は8月初めになる場合、8月13日のプレオープンまでの期間が短くなるが、どのように計画を立てているのでしょうか。

高校生 補助金がなくとも、私たちは本当にどうしてもこのプロジェクトを進めたいので、プロジェクトは進めていく。もし補助金がいただけたら、そのタイミングでそれを活用させていただく。

⑪オープン前に仕入れや準備で資金が必要になると考えられますが、誰が立て替えるのでしょうか。

高校生 色々な資金が必要になっていくが、NPO 法人セブンシーズのユースセンターの経費で立て替える。

⑫売上げが低迷し、15万円に到達しない場合の対処についてご説明ください。

高校生 よりスマートに居場所の継続を行いつつ、改めてニーズ調査のマーケティングも行い、高校生だけではない集客も考えていこうと思っている。

⑬補助金 5 万円は支出のどこに活用するのでしょうか。

高校生 補助金の 5 万円は、活動の初期経費である広報や店の内装が中心になる。

⑭内装費 2 万円についてご説明ください。単なる飲食店の改装ではないでしょうか。

高校生 内装費 2 万円については、高校生カフェ用の看板や本来ここにキャパシティーでは必要なかった高校生のための椅子の購入に利用する。

⑮会員は 5 名なのに、スタッフ用作業服の枚数が 8 枚の理由をご説明ください。

高校生 作業服が 8 枚の理由は、飲食店のオーナーや今後増える予定のあるメンバースタッフ用のためである。

⑯新規調理用品購入費 1 万 5 千円は、何を購入するのか、それらは飲食店にはないものかご説明ください。

高校生 調理用品 1 万 5 千円は、かき氷機やケーキの型、ホットサンドメーカーを購入する。これらはそれぞれ飲食店にはないものである。

⑰ショッピングカード 1 万円についてご説明ください。

高校生 ショッピングカード 1 万円については、高校生が 1 人 20 枚ほど、友人などに宣伝で配る用のカードである。そのカードのデザイン費と印刷費費用として利用する。

⑱飲食店のオーナーへ指導委託料 4 万円とありますが、指導料なので報償費で計上いただきたい。

高校生 報償費で計上する件は承知した。

⑲6 月 28 日付の申請ですが、運営規約では令和 5 年 7 月 1 日からの適用となっています。このプロジェクトはいつから存在していたのでしょうか。

高校生 このプロジェクトが私たちの中で話題になり始めたのは、5 月の中旬くらいである。

⑩計画書内の事業実施のきっかけにある「学校帰りに行ける場所・自習できる場所がほしい」のであれば、お金のかからない場所を探してオーナーに無償で協力いただけるような物件を探すべきではないでしょうか。

高校生 公園や市の施設なら無償かもしれない。しかし、そのような施設だと、私たちの手で作る私たちの居場所という意識で、その場所に愛着を持つのは難しい。民間の方の場所やサポートを受けて、無償というのは、サービスを受けているため、ビジネスの観点からすると失礼に当たると思う。

⑪計画書内の事業実施のきっかけにある「ニーズ調査」の内容及び結果を教えてください。

高校生 SNS によるアンケート調査を行った結果、居場所があつたらうれしいが84%、自由に飲食できたり話せたりするところがいいが100%。カフェとコラボがいいが92%というデータがあった。

⑫自己資金は自らお金を出すものであり、開業前の売上げを計上するのは、収支計画が成立していないと思いますがご説明ください。

高校生 勉強不足であった。今回はこれで提出してしまった。

質疑応答

委員① 今後の展望の中身を読んで、居場所作りやカフェということだけだと、どのような展望がこの先開けていくのかという点が気になった。ある程度、続けていかなければ、この事業そのものが何だったかという話になる。

1 つ目の質問は関わる大人がいるのか。

2 つ目は、場所があるか。場所は飲食店があるからクリア。

3 つ目は、仲間がどのぐらいいるのか。つまり高校生だけなのか、それとももう少し広い意味での仲間がいるのかということ。

4 つ目は、このカフェから更に発展をしていくということを考えたときに、関わってもらえる大人がいるのか。

高校生 ユースセンターのユースワーカーという大人が関わってくれる。

委員① 仲間はいるのか。郡上高等学校の生徒だけじゃなくて郡上北高等学校の学生もいる。そこの広がりはあるのか。

高校生 今のところは、スタッフは全員郡上高等学校の人のため、今はまずは郡上高等学校のところからお客様を集めて、またそこから続していくようであれば、郡上北高等学校に広げていくのかというのも考えていきたい。

- 委員① 今からこのカフェプロジェクトチームが、これから何をしようとしていることについて、3つ例を挙げるので、それについてどのように考えているか答えがほしい。
- まず 1 つ目は、カフェのメニューを作り、食べ物や飲み物を中心にして、例えば市内の同じようなカフェにメニュー提供をして、自分たちの考えたことをより広げていくということまで考えているか。
- 2 つ目は、例えば事業や行事をするときには、SNS や動画サイトなどを活用して発信する。つまり、情報を広げていくというようなことも、このカフェの活動の中に、今後の活動として考えているか。
- 3 つ目は、郡上では定番の土産がない。そのような新しい商品を自分たちで開発したり、土産づくりを工夫したりするという経済活動に一步踏み込むということまで考えているか。
- 高校生 1 つ目のメニューを他のところに売り出すというのは、一つの手だと思う。まずは自分たちのところで出してみて、あまり売上げが伸び悩むようであれば、他のところに少しずつメニューを提供していきたい。
- 2 つ目の情報に関しては、今は SNS が普及している時代なので、これから高校生カフェで働くスタッフ全員が SNS 発信していくば、それぞれたくさんの方達がいるので、多くの人に発信できると考えている。
- 3 つ目の経済活動に踏み込むというのは、そこまで考えが至ってなく、今は考えていなかった。また、スタッフと話し合って決めていきたいと思う。
- 委員② 飲食店の座席数はどの程度を想定しているのか。
- 高校生 今の飲食店の内装は、カウンターに 4 つだけ椅子があり、後ろには机と椅子が 4 つか、5 つぐらいしかない。10 人以上集まるようなことを考えたときに数が足りないと予想できるため、椅子の購入を考えている。
- 委員③ SNS でアンケートをとったとあったが、対象数はいくつか。
- 高校生 SNS のアンケートは 24 時間しかデータが残らないので、あまり覚えてはいないが、50 人以上だと思う。
- 委員③ それは郡上高等学校か。
- 高校生 郡上高等学校の生徒が多かったと思う。

委員③ 質問②の回答は、自己資金は自分達で出すということか。ユースセンターが立て替えと言っていたが。

高校生サポーター 今、ユースセンターという中学生や高校生が放課後に、自分達で好きなサークル活動をしたり、自分達でイベントの企画運営をしたり、プロジェクト活動をやるために居場所づくりを八幡町で行っている。

その中で、今回生まれてきた企画でこのようなことをしたいと言っている高校生いるのが、どこか協力してくれないかという話をした時に、この飲食店の方がどうぞと言ってくれて、今回この飲食店ですることに決めた。

そのため、最初ユースセンターから派生した高校生カフェという別のプロジェクトだが、一旦は私たちの方で最初の資金は提供できると思っている。

委員③ ユースセンターに予算があるのか。

高校生サポーター ユースセンターは今、国の休眠預金活用事業という制度を使っている。

例えば、少し前はプリクラ機を設置するプロジェクトも初期経費が必要だったため、最初は提供しながら、その後は全部企業が結局全部立て替えをしてくれた。今回も同じような形でしていく。

委員④ 構成メンバーを見ると3年生がほとんどで、2年生、1年生はどのようになっているのか。

高校生 メンバーに3年生が多いが、SNS等でメンバーを募る。2年生もメンバーが2人いるが、その子たちはやる気があって、どんどん広げていってくれるという意思があるため、その子たちの交友関係からメンバーを増やしていくのもある。

委員④ 今のところ募集中ということか。

高校生 はい。

委員① 高校生だけの時間はどのくらいの時間か。

高校生 放課後からここが開店する前までの時間のため、16時から19時までの間と考えている。

委員① そのときの安全管理や防火は大丈夫か。

高校生サポーター その場合の高校生だけの時間はない。16時から19時の間は飲食店のオーナーか、もしくは私たちユースワーカーの誰かが必ずつくるので、高校生だけの時間はない。

委員⑤ 楽器を演奏したりするのか。

高校生 バンバン叩いたり、アンプをつないで何かを流したりするのは近所の迷惑になるので、ドラムに関しても手で叩いたりとか、そのような感じでしている。

委員② 毎回10人以上が目標になっているが、10人が固定になってはあまり意味がないと思うので、友達の数が何人ぐらいだったら成功したというのか、そのようなところはないのか。

高校生 スタッフは曜日によってメンバーが変わるが、全員が毎回入るわけではなくて、この日はこの子の日みたいに変わっていくので、その日によって、その子が呼ぶ人数を集められたかで、目標が達成されたと考える。

高校生サポーター メンバーが変わると、来る子も変わる。その子とスタッフのつながりが強い子が来るので、多様性が担保される。もう一つは、高校生カフェに来たことがきっかけで、ユースセンターにも高校生が来るようになる。

高校生カフェだけではなくユースセンターも含めての人数でいうと30人くらいは見込んでいる。

委員⑥ 補助金は元々税金である。要するに税金の有効利用を担保し、税金が有効に使われているということが感じとれるか、今後そういう有効利用がしていただけるだろうかなということを、審査する人間が感じられないといけないということがあると思う。

しかし、大事なことは挑戦すること。それも高校生が挑戦するということの大しさ。そこに審査員として感じとれるかであって、自分の中では良しとしようと思った。

税金を使うのだから、失敗がゼロであるべきというのが基本的な行政的な考え方だと思うが、ゼロでなくともいいのかと思う。もし、このことに失敗したとしても、それが展開して、若い人たちが帰ってくるようなきっかけ、郡上での活動のきっかけづくりになってもいいという部分が、評価するところだと思う。

という私の話に対してもし感想があれば、述べていただきたい。

高校生 高校生だから少なからず失敗もある。しかし、高校生がやるということに、まず一

つ意味があると思うし、ここでやったことが絶対将来に生きると思っており、きっとやったことがゼロにはならないと思う。

このやっているところを見て、他の人が郡上市すごいなど感化されて、また同じことをやるかもしれないし、この制度を利用して別のことを提案してくれるかもしれないということを考えると、やる意味がこれだけある。

5.閉会

事務局 以上をもって、令和 5 年度第 2 回郡上市市民協働活動審査会を閉会する。

(14:30)